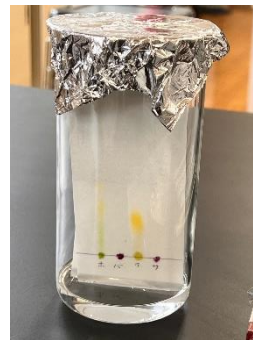




植物の色素を見てみよう

2023年度最後のSASは、兵庫県立大学大学院理学研究所から菓子野康浩先生と学生さん4人にお越しいただき、ペーパークロマトグラフィを用いて、溶媒で植物の色素を見る実験をしていただきました。

ペーパークロマトグラフィとは、紙(ろ紙)と液体を使って水に溶ける物質(もの)を分離する方法です。紙や布の端を水等の液体に浸けると、毛細管現象により液体が上に向かってしみこん



でいきます。水が登っていく途中に水に溶ける物質があると、この「水の流れ」に乗って移動します。本時の実験では、紅花、カーネーション、サザンカ、チューリップ、バラの中からそれぞれ好きなものを2種類とホウレンソウと珪藻の計4種類の植物の色素を観察しました。子どもたちは色素の上がっていく様子や、色の変化に興味深そうに観察していました。その後、クロロフィルa、クロロフィルb、カロチノイドの吸収スペクトルの違いを教えてくださいました。

身近な植物の色素や色見え方にも興味関心をもつ、貴重な経験となりました。

